

「蔵の街」の粋なたたずまい、レトロ感漂う風情豊かな街

個性豊かな県内各市町を紹介しているこのページ。今回ご登場いただくのは、「小江戸」の異名をとる栃木市です。

個性豊かな県内各市町を紹介しているこのページ。今回ご登場いただくのは、「小江戸」の異名をとる栃木市です。



▲巴波川沿いの塚田歴史伝説館は市内屈指の人気夜景スポット

栃木市と聞いてまずイメージするのは、巴波川沿いの黒い板塀と白壁の土蔵が連なる美しい街並みでしょう。近年は「小江戸」「小京都」「関東の倉敷」と注目され、映画やドラマの舞台・ロケ地として数々の作品に登場しています。

栃木市一帯は、古くは律令時代から下野国庁が置かれ、江戸時代は日光例幣使街道の宿場や利根川水系の水運の要所としても栄えました。明治以降も廃藩置県に伴い一時期、旧栃木県の県庁が設置されるなど、県南部の商都・行政の拠点としての歴史を誇ります。戦災を免れた市内は明治期の洋館も多く残り、江戸時代の蔵や商家と併せ、レトロな景観が人気です。

一方では、「陸の松島」と称される太平山や三龜山、岩船山、ラムサール条約登録湿地の渡良瀬遊水地も存在するなど、自然環境も充実。豊かな自然を背景に米・イチゴ・ぶどう等の多彩な農産物を生産する県内有数の農業地帯として、食の地域ブランドとしても認知されています。



News

「蔵の街」のお洒落スポット

古きよきたたずまいの蔵の街。一部は国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、建築上の制約はありますが、最近では古民家等をリノベーションして、新しい店舗が次々オープンしています。

●スピレフルリスト (Spirée fleuriste)

「蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト 2017」の受賞者が“蔵づくりの建物を利用して花と街の魅力を伝えていく”をコンセプトにオープンしたお洒落な花屋。



●パーラーとちぎ

大正11年築造、国の登録有形文化財にも指定された洋館を改装したカフェで、“コーヒーのまち栃木”として新たな市の魅力発信を図ります。

●ヒト匙+【ひとさじプラス】

モルタル壁のシックな店内で、オーナーが選んだ創作性の高い雑貨やバッグ、アクセサリ等を扱います。



●カフェバザール

古民家が並ぶ嘉右衛門町の一角の隠れ家的なカフェ。本格的な欧州料理を提供します。

レトロな風情で大人気。「蔵の街」の景観



江戸時代の栃木は、東照宮造営に伴う水運の増加や日光参拝による日光例幣使街道の往来の活発化により、交通・商業の中心として栄えました。戦災による焼失を免れ、栃木駅から近い「巴波川周辺・倭町・室町」と旧例幣使街道沿いの「嘉右衛門町」を中心に、江戸時代の商家や蔵、維新後の洋館が随所に残ります。

レトロな景観は、何の努力もなしに維持されてきたわけではありません。蔵の街のたたずまいを活かしつつ再開発を進めるため、市では「街なみ環境修景事業」等により歴史的建築物の保全を図るとともに、市内の回遊ルートの整備を行い、蔵の街広場やポケットパーク、核施設（美術館・観光館・山車会館）の整備により来訪客の受け皿を充実させてきました。栃木市の平成28年の入込客数は600万人を突破、5年間で3割以上も増加しています。

こうした栃木市の魅力は移住を考える人へも訴求力が大きく、宝島社『田舎暮らしの本』掲載の2018年版「住みたい田舎ベストランキング」で、栃木市は「若者世代が住みたい田舎部門」で2年連続の全国1位。さらに「子育て世代部門」2位、「シニア世代部門」2位となり、総合でも3位と高い評価を得ています。

●渡良瀬遊水地

日本最大・33平方kmの遊水地で、ハート型の谷中湖は平成2年完成。平成24年のラムサール条約登録を受け、現在は動植物の保護区となっています。



●つがの里

広大な園内にふるさとセンター、ファミリーパーク、野鳥の森等が配置され、四季折々の草花が彩りを添える癒しの公園です。



●おおひら郷土資料館 (白石家戸長屋敷)

大庄屋（白石家戸長屋敷）の屋敷を修復し、日本の考古学に大きな影響を与えた古墳時代の出土資料など原始時代から近世に至る文化・歴史を展示しています。



●まちの駅コエド市場

蔵の街大通りの空店舗を整備した、市のアンテナショップ兼観光情報物産館。高校生が地元文化の創造と発信を行うわいわい工房や、地域FM局のサテライトスタジオを併設。



★とちぎ蔵の街美術館

「おたすけ蔵」として市民に親しまれてきた約200年前の土蔵を改修し、市に縁の作家や人間国宝の作品を中心に展示します。



★とちぎ蔵の街観光館

荒物問屋・田村家の店舗・土蔵を改装した観光案内と土産品販売の拠点施設です。



★とちぎ山車会館

隔年開催の「とちぎ秋まつり（今年は11月9日（金）～11日（日）開催）」で使われる山車を展示し、デジタル技術を駆使して秋まつりを再現します。

★移住体験施設（やどかりの家・蔵人館）



栃木市の生活に興味があっても「いきなりの移住は不安」という方のため、空き家を改装して市が開設した移住体験施設。「I」Uテラス 蔵人館」は築160年以上の見世蔵を改装したカフェ併設型の施設、「蔵の街 やどかりの家」は市の中心部、県庁掘沿いの風情ある一軒家です。

栃木市の見どころ

●岩下の新生姜ミュージアム

全国唯一?の新生姜がテーマのミュージアム。岩下の新生姜に関する展示やアトラクションが人気です。



●いわふねフルーツパーク

イチゴやぶどう・梨など果物狩りが楽しめます。新鮮な野菜や果物が並ぶ直売店も併設。



profile

●栃木市

昭和12年4月、旧栃木町の市制施行で誕生した旧栃木市は、昭和29年～平成17年の5回の合併で市域を拡大しました。平成22年に旧栃木市など1市3町の合併で新栃木市が発足。平成23年・26年の編入で現在の姿となりました。地勢的には県最南端、茨城・栃木・群馬・埼玉の4県の県境が接する稀有な地にあるのが特徴です。

▶面積：331.50平方km

▶人口：161,640人（65,444世帯）

〔平成30年9月30日現在〕